津久井又野公園他５施設指定管理者選考委員会の議事概要及び選考の概要

＜選考委員会の議事概要＞

１　日時

令和８年９月１４日(月)　１３時２０分～１６時４０分

２　会場

相模原市役所　会議室棟１階　第６、７会議室

３　出席者

（１）都市公園及びスポーツ施設指定管理者選考委員会委員　４名

（２）事務局（環境経済局環境部津久井地域環境課・市民局スポーツ施設課）　７名

４　選考委員会の委員の構成

（１）一般社団法人職員（委員長）　１名

（２）相模原市スポーツ推進委員　１名

（３）公認会計士　１名

（４）市職員　１名

５　公開の可否

都市公園及びスポーツ施設指定管理者選考委員会設置要綱第９条により非公開とした。

６　議題

（１）申請団体の提案説明及び質疑応答

（２）事前審査結果報告

（３）申請団体の経営状況の確認

（４）採点・集計

（５）最終評価（意見交換）

７　議事概要

（１）申請団体からの提案説明を受け、それに対して選考委員会委員が質疑応答を行った。

ア　ギオン・ハヤシグループ

（主な質疑応答）

委　　員：事業計画書に記載されているイベント等は各施設において行うのか、施設をしぼって行うのか。

申請団体：初年度は津久井又野公園や相模湖林間公園といった代表的な施設において実施を予定している。なお、利用者アンケートによって、他施設での実施を希望する意見があれば、積極的に検討する。

イ　津久井グループ運営共同事業体

（主な質疑応答）

委　　員：新規に構成団体となった２社について、その意義を伺いたい。

申請団体：(株) 石勝エクステリアについては、各施設における造園的な改善の余地及び全国的な倒木被害の観測を踏まえて、植栽の全体的なマネジメントとして施設管理に携わる。(株) タウンニュース社については、情報発信の専門的な事業者として、施設のＰＲを担い、さらなる利用の拡大を期待している。

（２）申請団体における申請資格について、適正である旨を事務局より報告した。

（３）選考委員（公認会計士）から説明いただき、各委員による評価の参考とした。

（４）各選考委員会委員が評価基準に基づき採点を行った。

（５）事務局から各申請団体の合計得点を伝え、選考委員会委員で意見交換を行った。

（主な意見）

・津久井グループ運営共同事業体及びギオン・ハヤシグループともに、本市での管理実績があり、財務状況や経営状況も概ね安定しているため、どちらの共同企業体も適切な施設運営が十分に期待される。

・計画事業及び自主事業について、津久井グループ運営共同事業体及びギオン・ハヤシグループともに、魅力的な事業の提案があった。ギオン・ハヤシグループは今までと異なる切り口の事業提案があり、津久井グループ運営共同事業体は現指定管理期間における反省を踏まえた提案があった。その点について、より実情に沿った提案として津久井グループ運営共同事業体を評価した。

※　選考委員会は申請団体名をブラインド化しており、当日はＡ社、Ｂ社などとしていたが、議事概要では申請団体の名称を使用している。

＜選考の概要＞

１　選考結果

津久井グループ運営共同事業体を指定管理者候補団体とし、ギオン・ハヤシグループを指定管理者次点候補団体とすることとした。

２　選考理由

（１）評価基準に基づく各選考委員会委員の採点の結果、最低基準点を超え、かつ、候補団体の合計得点（得点内容は、３（１）のとおり）及び候補団体以外の申請団体の合計得点が同点となったため、募集要項の規定に基づき評価項目「自主事業」に係る得点を比較したところ、候補団体の方が高得点であったこと。

（２）各評価項目において、施設設置目的に照らして適正な施設運営が行われる水準を満たしており、かつ、市民サービスの向上が図られるものと評価したこと。

（３）候補団体の経営状況が良好であり、継続的な管理運営が期待できること。

３　評価基準・評価結果

（１）指定管理者候補団体（津久井グループ運営共同事業体）及び次点候補団体（ギオン・ハヤシグループ）の評価基準に基づく評価結果は、次のとおりです。

評価項目		配点	候補団体	次点候補団体
事業計画書に対する評価				
内訳	指定管理者の適正	２０	１７	１７
	管理運営方針	２０	１７	１７
	地域活性化	２０	１６	１５
	事業計画（自主事業を除く）	４０	３６	３４
	自主事業	４０	３６	３２
	利用者ニーズ	４０	３０	３２
	維持管理計画	２０	１８	１６
	人員配置	２０	１３	１４
	安全管理及び緊急時の対応	２０	１５	１５
	適正な管理・経理	２０	１６	１６
	小　計	２６０	２１４	２０８
収支計画・経費的効果に対する評価				
内訳	収支計画の妥当性	２０	１４	１４
	指定管理料の削減	２０	２０	２０
	利益の還元	２０	１８	２０
	小　計	６０	５２	５４
管理能力に対する評価(団体本体に対する評価)				
内訳	団体の経営状況	２０	１３	１６
	団体の管理能力	２０	１３	１４
	労働環境の適正性	２０	１０	１０
	小　計	６０	３６	４０
合　計		３８０	３０２	３０２

※　合計得点における最低基準点は２２８点としました。